

日本人サポーターの皆様へ

(サッカーワールドカップ観戦の注意)



南アフリカでは6月11日から7月11日までサッカーワールドカップが9都市10会場で開催されます。世界的なイベントである本大会には、世界各国から多くの人々が訪問することが予想されます。南アフリカは観光資源等に恵まれた経済大国であり、政情は基本的には安定していますが、治安面では、都市中心部やタウンシップにおいて深刻な状態であり、特に銃器を用いた凶悪犯罪が多発していますので十分な注意が必要です。

また、スタジアムへの周辺道路整備などの遅れ、外国人旅行客が利用できる公共交通機関の不足、及び開催都市によっては十分なホテルがないために観戦者を他の都市からバス輸送する予定であるなど、試合開催地では、混乱が生じる可能性もあります。更に、開催期間中、多くの外国人観光者を狙った犯罪の発生率が高まる可能性も考えられます。

つきましては、この期間に南アフリカに渡航・滞在される方は、以下の諸点に注意の上、ワールドカップ・南アフリカ大会を安全に楽しく観戦していただくとともに、犯罪やテロなど不測の事態に巻き込まれないよう、海外安全ホームページの下記サイトや報道等より最新の治安関連情報の入手に努め、十分な安全対策を講じてください。

○ 危険情報、スポット情報

<http://www.anzen.mofa.go.jp/info/info4.asp?id=122#header>

○ 安全対策基礎データ

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/info4_S.asp?id=122

1. 滞在中の注意

(1) 安全対策

● 単独の移動や行動は常に避け、極力複数名による移動や行動を心掛けるようにしてください。

● 試合や関連行事の会場は警察官などによって堅固な警備が敷かれますので、会場内で強盗に遭遇することは少ないと思われませんが、一方、置き引きなどの被害に気をつけるよう携行する貴重品を分散及び極力少なくするなどの工夫をしてください。



● 試合や関連行事の会場に行く際には、可能な限り近くまで車を利用してください。特に、都市部では夜になると危険になりますので、日没後の外出では徒歩圏内であっても車を使うようにしてください。

● 車を利用する場合でも、駐車場等での乗り換え時の犯罪に備え、宿泊先に帰る際には速やかに車に乗れるよう、あらかじめ駐車場所や送迎車との待ち合わせ場所を確認してください。また迷った場合に備え、携帯電話を携行するようにしてください。


● 市中などで多人数による暴力行為や示威行動を見かけた場合には、巻き込まれないよう、速やかにその場から離れて下さい。また、南アフリカ警察は暴徒に対し硬質ゴム弾を発砲するなどして制圧を図りますが、被弾すると負傷は免れず、当たり所が悪いと死亡する可能性もあります。

● 試合会場及びその周辺では、警備当局に

よる厳しい持ち物検査等が予想されます。そのため、試合会場にはできるだけ早目に移動するとともに、試合会場等の警備にあたる警察官や警備員の指示には常に注意を払ってください。

(2) 盗難に遭った場合の対策

十分に注意していても強盗に遭うことがあります。犯人は、銃や刃物等の凶器を持っている可能性があり、凶器を使用することを躊躇しませんので、むやみな抵抗はしないでください。強盗が立ち去ったら、すぐに自分や同行者が負傷していないか調べ、必要があれば病院に直行して治療を受けてください。その後、盗難に遭った携行品を調べて最寄りの警察に届け出てアフィダビット (affidavit: 供述書、記入例は最終頁参照) を取得してください。このアフィダビットは盗難に遭った物品の保険金請求や、旅券の再取得手続きに利用します。また、南アフリカ出国時に空港係官に提示を求められる場合もあります。


AFFIDAVIT

I (name and surname) _____ am an adult (gender) _____
Of (address) _____ I.D. No. _____

* I hereby make an oath and state that: On Wednesday 2010-01-27, at
about 14H 02 my handbag was snatched and
it contained my passport, my Japanese driver's
licence and my son's _____ passport
electric stationery and an Olympus digital camera
Japanese drivers licence, Japanese notes, credit cards

SIGNATURE
DATE 2010-01-27

A. I certify that before administering the oath/affirmation, I asked the deponent the following questions and wrote down his/her
(Answers in his/her presence)

1. Are you conversant with and do you understand the content of this declaration? Answer: YES

2. Do you have any objection to taking the prescribed oath? Answer: NO

3. Do you consider the prescribed oath to be binding on your conscience? Answer: YES

B. I certify that the deponent has acknowledged that he/she knows and understands the content of this declaration. This
declaration was sworn to/affirmed before me and the deponent's signature/thumb print/mark was placed thereon in my
presence on this _____ day of _____ at _____

COMMISSIONER OF OATHS FULL NAME DESIGNATION

2. 移動の際の注意(安全対策)

(1) 近距離交通手段

南アフリカ国内ではミニバス・タクシーと呼ばれる乗り合いバスや、コミュニーターと呼ばれる近距離鉄道がありますが、行き先や料金などの案内が不十分なため外国人には非常に使いづらいことと、防犯面で問題があるので利用しないでください。

各地の空港からシャトルバスやタクシーを利用して移動する場合、事前に料金を確認した上で乗車してください。ちなみに、空港や試合会場などへの送迎は、宿泊先ホテルにあらかじめ車の手配を依頼しておけばホテルの車を派遣するか、または契約しているタクシーを斡旋してくれます。空港のタクシーよりも信頼できます。

ダーバン市内の観光客向け巡回バス(People Mover)は、日中の利用であれば安全とされます。料金は1回4ランド(約50円)、一日券が10ランド(約120円)です。



(2) 遠距離交通手段

南アフリカでは主要都市間の航空網が発達しており、安全に移動できます。長距離鉄道はブルートレインなどの観光列車に限られていますので、利用される方は日本出発前に予約することをお勧めします。一方、2010年4月に観光列車ロボスレイルの脱線事故が発生しました。今後も類似の事故の発生や途中駅停車時などの際に犯罪に遭う可能性もありますので、乗務員の安全に関する説明に注意を払ってください。

長距離バスも比較的安全ですが、大都市のバスターミナル周辺では強盗被害が多いので、利用の際には宿泊先ホテルや旅行会社を通じて車の送迎を頼んでください。徒歩でバスターミナルから移動することは犯罪被害に遭う可能性が非常に高いので止めてください。

(3) 試合観戦時の交通手段



試合会場に向かうには車を利用する以外ありません。タクシーなどで会場のスタジアム近くまで行くか、またはパーク&ライド(Park & Ride)のサインがある駐車場に車を止め、無料運行されるシャトルバスで試合会場に向かってください。パーク&ライドの駐車場は、観戦チケット引換所で配布される無料ガイドブックに記載されています。利用の際は、宿泊先などで詳細な場所を確認してください。駐車場は広大で、複数あるところもありますので、自分の車の位置についてはメモするなどして確実に記憶してください。また、駐車場内の移動やシャトルバス等への乗降の際にスリや窃盗などの被害に遭うこともありますので、周囲に十分注意してください。

試合会場周辺ではセキュリティチェックやチケット確認のための混雑が予想され、自席に着くまでに相当の時間を要します。キックオフ2時間前には試合会場に着くように心がけてください。

試合終了後は速やかに会場を離れてください。直後の交通渋滞を避けるため、試合終了

前に会場を離れることも考慮してください。タクシーを利用される方は、速やかに乗車できるよう携帯電話で運転手と待ち合わせ場所を確認してください。

車以外にも通勤用鉄道などが利用できるスタジアムがありますが、外国人が利用することは危険ですので、利用することは避けてください。



3. 宿泊についての注意

(1) 宿泊先については出発前に必ず予約してください。各空港にあるインフォメーション・デスクでは宿泊先の斡旋はしていません。南アフリカ到着後に最寄りの旅行代理店に依頼することは可能ですが確実ではありませんので、お勧めしません。

(2) 野宿は、犯罪被害に遭う可能性が非常に高いので絶対にやめてください。また、高地の開催都市では非常に冷え込むので、装備が十分でないで凍死する危険があります。

(3) 南アフリカには様々な形態やレベルの宿泊施設があります。旅行代理店を通して予約できる施設については概ね問題ないと言えます。インターネットを介して予約する場合には、詐欺サイトに注意しつつ、いくつかの宿泊施設と比較し十分に検討してください。

4. 試合観戦のための注意

(1) 防寒具

ワールドカップの行われる6～7月、南半球に位置する南アフリカは冬です。特に夜間行われる試合観戦にはダウンジャケットなど十分な防寒具を用意してください。

日本代表の試合が行われるブルームフォンテンでは氷点下まで、ラステンバーグでも零度近くなるまで冷え込む可能性があります。一方、ダーバンは温暖な場所であることに加え、試合が昼過ぎに行われることもあり、天候によっては暑く感じるかもしれません。

(2) 冬服

南アフリカの建物は日本と同様に夏向きにできています。このため、冬の間は、建物内部でも肌寒く感じますので、冬服を持参してください。インフルエンザの流行が予測されていますので、特に喉を保護するハイネックなどの服をお勧めします。

(3) 旅券

日本旅券で南アフリカに入国する場合、査証(ビザ)は不要です。ただし、南アフリカから出国する航空券がない場合や、旅券の査証欄の空白頁が2頁以上ない場合には入国を拒否、または南アフリカへ出発する航空機への搭乗を拒否されることがあります(外国にある南アフリカ大使館の中には査証欄の空白頁を1頁と案内しているところもありますが、実際には、1頁しかないことを理由に航空機の搭乗を拒否された例があります)。査証欄の増補は最寄りの都道府県旅券センター、日本国大使館や総領事館にお問い合わせください。

旅券を盗難または紛失した場合には、プレトリアの日本大使館またはケープタウンの出張駐在官事務所で旅券の再発行を受けて下さい。

(4) 予防接種

南アフリカに入国する際に義務づけられた

予防注射はありません(アフリカ中部の黄熱病汚染国を経由して入国する場合には黄熱病ワクチン接種を証明するイエローカードの提示が必要となります)。但し、ワールドカップ開催時期にインフルエンザが流行する可能性もありますので、できれば日本出発前に予防接種を受けることをお勧めします。

(5) 観戦チケット

観戦チケットは正規の方法で入手してください。南アフリカ警察は偽チケットが出回る可能性が高いとして警戒していますので、偽チケット売人(ダフ屋)の誘いにのり、偽チケットを買わないようご注意ください。観戦チケットの引換方法については下記5をご参照ください。



(6) クレジットカード、国際キャッシュカード

南アフリカでは強盗被害が頻発しています。滞在の間、多額の現金を携行することは非常に危険ですのでお勧めしません。南アフリカではクレジットカードが使える店が多くあります。また、ATMも多く設置されており、国際キャッシュカードやクレジットカードでキャッシングを受けることも可能です。ただ、カードのスキミング被害も多く報告されていますので、利用にあたっては、カードから目を離さないように注意してください。また、ATMを利用する際は、周囲に十分注意してください。

南アフリカに入出国する際に次の金額以上

を携行される方は税関への申告が義務付けられています。違反が発覚した場合には没収されますのでご注意ください。

外貨－1万米ドル相当額

南ア通貨－5000ランド(約5万円)以上は持ち出し禁止

(7) 日焼け対策

試合会場の半数は高地にあるため、紫外線が強く日焼けしやすいので、日焼け対策が必要です。使い慣れたサンローションなどがある場合には持参してください。南アフリカでもサンローションは、薬局、スーパー、スポーツショップなどで簡単に入手できます。

(8) 体調管理

日本と南アフリカは時差が7時間、飛行時間は17時間以上、季節が逆転、高地が多く、乾燥しているなどの理由から体調を崩しやすいので、南アフリカ滞在時だけでなく、日本出発前から体調管理には十分注意してください。

滞在中に体調不良を感じた場合には宿泊先に医師の紹介を頼むか、加入した海外旅行保険が勧める病院を利用してください。

(9) 海外旅行保険

南アフリカの医療費は高いため、施設の整った病院で高度な治療を受けるには事前に保険会社の支払保証を求められることがあります。また、交通事故などで病院に搬送される際にも、保険が無いと医療水準が低い公立病院に搬送されてしまうのが通例です。

以上のことから、日本出発前に十分な額をカバーする海外旅行保険に加入されることをお勧めします。加入は、保険代理店や旅行代理店などの店頭で、またはインターネットで申込みができます。また、成田空港や関西空港では自動販売機で加入することができます。

(10) 携帯電話

南アフリカでは公衆電話の数は少ないため、同行者や宿泊先などと連絡を取り合うには携帯電話が必要です。南アフリカでも利用可能な携帯電話を日本から持ちこんで利用するか、または南アフリカでレンタル携帯電話をご利用ください。

5. 観戦チケットの入手

(1) 観戦チケット引換所(開催都市)

観戦チケットは試合を開催する各都市に開設されたチケット引換所(FIFA Ticketing Centre)で受け取ることができます。交換は毎日9時から18時までですが、試合開催日の前日には時間が延長されることがあります。ただし、防犯上の観点から、日没前に交換することをお勧めします。引換所の所在地については次のサイトをご覧ください。

<http://www.fifa.com/worldcup/organisation/ticketing/collectionlocations.html>

上記のサイトに掲載されている引換所はショッピングセンターなどの概ね安全な場所にあります。その周辺が安全とは限らないので、可能な限り近くまで車で移動するようにしてください。但し、その引換所の一つが所在するヨハネスブルグ市ソウェト地区にあるMaponya Mall ショッピングセンターは、犯罪発生率の高いタウンシップ(いわゆる黒人居住区)の中に位置しているため、利用はお勧めしません。

チケット引き替えには、支払いに利用したクレジットカード及び旅券が必要となります。また、インターネットサイトで申し込んだ方は、リファレンス番号を控えておき、引き替えの際に一緒に提示してください。

(2) 観戦チケット引換所(空港)

ヨハネスブルグ、ケープタウン、ダーバンの各空港にもチケット引換所(FIFA Ticket Terminal)が6月7日より開設されます。い

れの交換所も毎日7時から21時まで開設される予定です。空港内の警備は厳しいので安全にチケットを受け取れます。特に、南アフリカ入国から観戦する試合までに時間の余裕のない方は空港の引換所をご利用ください。

6. 帰国時の注意

南アフリカの空港や土産品店などで販売されている次の物品は、日本への持込を禁止されていますので注意してください。

- ・ビルトン(Biltong、干し肉)
- ・野生動物の角、骨、皮、卵の殻などで、日本政府の指定する方法で処理していないもの。



問い合わせ先

○在南アフリカ日本国大使館

住所: 259 Baines Street, corner Frans Oerder Street, Groenkloof, Pretoria 0181, Republic of South Africa.

Tel: 012-452-1500 FAX: 012-460-3800
(電話は夜間、休日でも音声案内に従って操作すると日本人オペレーターに繋がります)

http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html

○在ケープタウン出張駐在官事務所

住所: 2100 Main Tower, Standard Bank Center, Heerengracht, Cape Town 8001, Republic of South Africa

Tel: 021-425-1965 FAX: 021-418-2116

○ ブルームフォンテン大使館臨時事務所

期間:6月13日(日)~15日(火)

時間:13日(日)16時~20時

14日(月)9時~21時

15日(火)9時~12時

場所:ブルームフォンテン市庁舎別棟
内1階(日本式2階)

住所:1st Floor, Room 38, Bloemfontein
Civic Center, Bran Fisher Building,
Corner of Nelson Mandela Drive
and Markgraaf Str. Bloemfontein

電話:+27 (0)83 271 0039

+27 (0)83 271 0042

○ ラステンバーグ大使館臨時事務所

期間:6月24日(木)~25日(金)

時間:24日(木)12時~24時

25日(金)9時~12時

場所:バフォケン事務所内講堂

住所:Auditorium, Bafokeng Civic Center,
Direpotsane Street, Rustenburg

電話:+27 (0)83 271 0039

+27 (0)83 271 0042

○ ダーバン大使館臨時事務所

期間:6月18日(金)~20日(日)

時間:18日(金)16時~20時

19日(土)10時~21時

20日(日)10時~12時

場所:ダーバン・ビーチフロント(ノース
ビーチ)・ファンセンター内

住所:International Fan Embassy at the
Fan Center, Pavilion Site, North
Beach, Durban

電話:+27 (0)83 271 0039

+27 (0)83 271 0042

(注:最寄りの警察署で所定の用紙に以下の要領で記入してください。記入箇所は斜め文字で記してあります。)

AFFIDAVIT

I (name and surname) Taro YAMADA am an adult (gender) male
(名、姓) (性別 male または female)
of (address) 259 Baines Street, Groekloof, ID No. TF9876543
(被害に遭った場所) (旅券番号)
Pretoria,

I, hereby make an oath and state that: on Wednesday, 2010-06-11 at 14:00, my handbag was snatched which contains Passport, purse, cash R300-, Japanese Yen 30,000-, camera, video and Personal Computer.

(盗難日時、状況、被害品目を記入する)

山田 太郎
Signature
(署名)

2010-06-11
date

(作成日付)

A. I certify that before administering the oath/affirmation, I asked the deponent the following questions and wrote down his/her Answers in his/her presence;

1. Are you conversant with and do you understand the content of this declaration?
(この宣誓供述書を作成するにあたり、十分理解した上で宣誓しましたか?) Answer: Yes
2. Do you have any objection to taking the prescribed oath? Answer: No
(記述された内容に異議はありませんか?)
3. Do you consider the prescribed oath to be binding on your conscience? Answer: Yes
(記述された内容は自身の良心に従って間違いないものと考えますか?)

B. I certify that the deponent has acknowledged that he/she knows and understands the content of this declaration. This declaration was sworn to/affirmed before me and deponent's signature/thumb print/mark was placed thereon in my presence on this

11th Day of Jun 2010 at Brooklyn SAPS
(作成日付) (作成した警察署名)

Commissioner of oaths

Full Name

Designation